

社会福祉法人東京児童協会  
亀戸こころ保育園  
〒136-0071 江東区亀戸 9-34-1-140  
TEL 5836-8011

亀戸こころ保育園分園 にじいろのくに  
〒136-0071 江東区亀戸 7-63-3  
TEL 5609-7272

園長 古澤 まどか

肌を感じられる風も涼しさから冷たさに変わり、少しずつ冬の訪れを感じる頃、衣服をこまめに調整しながら、これから一段と寒くなる季節に負けず、元気いっぱい戸外遊びを楽しんでいきたいと思ひます。

### ～第三者評価アンケートについて～

令和6年10月25日(金)にQRコードを載せたA4サイズの手紙を配布しております。各ご家庭1枚となります。日々の保育園への思い(良いところや改善点)など、皆様のお声を聞かせていただけたらと思ひます。

QRコードを読み込み、途中で保存をすることが出来ない為、お時間のある時に回答いただけると幸いです。

アンケート〆切は令和6年11月8日(金)となっております。ご協力のほど、よろしくお願いいたしします。

### ～親子の日を終えて～

令和6年10月19日(土)は、親子の日へご参加いただきありがとうございました。当日は、0歳～5歳児の親子総勢267名の参加でした。天候が不安定な予報となっており、前日に子どもたちと「晴れますように」と思いを込めて、てるてる坊主を作りました。当日は、子どもたちの思いが伝わり、天候にも恵まれ無事に開催することができました。

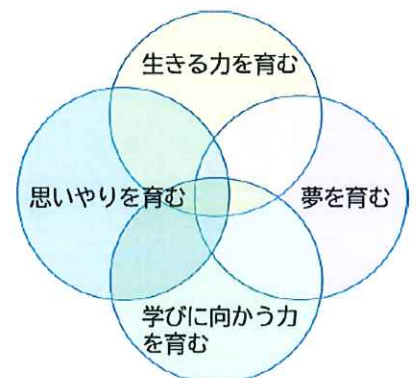
5年ぶりに上野動物園での開催となりましたが、入場までに大変長い時間お待たせしてしまいましたこと、お詫び申し上げます。「各クラス参加者の人数確認→チケット購入→動物園のスタッフからの人数確認→入場」という流れでしたが、人数確認に時間が掛ってしまい、入場までに大変長い時間お待たせをしてしまいました。また、現状の説明がその場で出来ず、保護者の皆様には不安な思いや子どもたちが暑い中長い時間待つ形になってしまいましたこと重ねてお詫び申し上げます。

事後のアンケートより「お天気にも恵まれ、保育園のお友達家族と外で交流することができ、特別感があり有意義な時間を過ごすことができました。」「動物を見て興奮していた」「プレリードッグの前から動きたくないと言ひ、食い入るようにみていたのが印象的だった」「鳥を見て怖いと言ひしていましたが、猿やゴリラは興味津々に見ていたのがおもしろかった。帰ってきてからも”ぞうさん!”と楽しそうに話していた。」「普段なかなか見ることのできない、トラや熊などのおおきな動物を間近で見ることができて興奮した様子だった。いた!いた!と大きな声で教えてくれた。」「ゾウやトラ、クマなど大きな動物を見ると目を丸くしてびっくりしていました。」「シールを集めるのが楽しかったようだった。」「大型の鳥を指さし、声を上げていた。」「友達と園外で遊んだりする機会があまりないため、動物園で友達と会うと疲れて歩けなかったはずが笑顔で歩いてくれていて楽しそうだった。」「友だちと会話をしながら動物を観察していた。また、クイズに積極的に取り組んでいた。」など、子どもたちの印象に残っている姿や親子の日についての感想をいただきました。感じたことを言葉にしたり、表情や身体を使って動物を表現する姿も見られ、子どもたちの成長が感じられる1日だったのではないのでしょうか。これからも保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を見守っていきたくと思ひます。

### -----～保育の風景・今年度のテーマ『力』～-----

#### ～いのちキラキラ「生きる力を育む」～

法人看護師プロジェクト「いのちキラキラ」を5歳児クラスの子もたち対象に行いました。今年度は「プライベートゾーン」をテーマとして、「プライベートゾーンとはどこ?」「大事にするとはどういうこと?」等を人形劇や絵本を通して学んでいます。看護師の話に耳を傾ける子どもたちの表情は真剣そのもので、「自分のからだ」について知り、「自分で守る」為にどうすれば良いかを考える貴重な機会となりました。普段の着替えの仕方やトイレでの立ち振る舞い等、日常生活でも意識できる場面が多くあります。月組の子もたちが小さな先生となって見本を示すことで、自己を大切にすることはもちろん、友だちの存在も尊重していく心が育つことを願っています。





## ～10月はこんなことがあったよ～



暑さが落ち着き、散歩の季節になりました。入園当初はバギーに乗ると泣いていた子どもたち。今では“バギー”=“大好きなお散歩”ということに気が付いてきたようで、身体を弾ませたり身を乗り出したりして喜んでいきます。散歩先では落ち葉や砂の感触を楽しんでいました。また、電車の音や飛行機の音にも敏感で、聞こえるとすぐに周囲を見渡してどこにいるのか探す姿が見られています。戸外活動の後には着替えをします。高月齢児は出来ることも増え、ズボンの引き上げや上着の脱ぎ着にも挑戦しました。低月齢児も徐々に着替えの際の身体の動かし方を身に付け、保育者が袖を斜め上に引っ張ると腕を引き抜こうと動かしています。引き続き個々の発達に合わせて援助をしながら、子どものやりたいという気持ちを受け止めていこうと思います。

### ★今月の目標★

- ・衣服の調節をし、一人ひとりの体調の変化に気を付けながら健康に過ごせるようにする。
- ・秋の自然に触れて楽しむ。

### ★お楽しみ★

- ・秋の自然物に触れて楽しもう。
- ・手遊びを楽しもう。



亀戸中央公園の多目的広場やどんぐり林まで散歩に行っています。とんぼやバッタ、蝶々等を見つけると指を差し「あっ、みて！」と追いかけたり、自分たちで作成した散歩バッグに沢山のどんぐりを集めたりと、季節ならではの生き物や自然に親んでいます。また、「〇〇してほしい!」「〇〇がいい!」や「だめ!」と首を横に振ったりなど、意思や感情を表現する姿が増えてきています。他児とのやり取りが増えたことでトラブルもありますが、必要に応じて保育士等が仲立ちを行い、関わりを深めていきたいと思っています。

### ★今月の目標★

- ・衣服や室温を調節し快適に過ごす。
- ・保育者と一緒に片付けをする。
- ・友だちと簡単な単語や言葉を使ったやり取りを楽しむ。

### ★お楽しみ★

- ・どんぐりマラカスを作ろう。
- ・散歩を通して季節の自然に親しもう。



友だちと手を繋ぎ、歩いて散歩に出掛けています。左右を確認し、手を挙げて横断歩道を渡るひよこ組さん。4月に比べすっかりお兄さんお姉さんになり成長を感じました。また、本園の室内や園庭で本園児・分園児と一緒に遊ぶ時間を設けています。少しずつ交流を深め、互いに親しみを持って関わり合えるよう仲立ちしています。

毎日活動や食事の前後にトイレに向かうことで排泄のリズムが整い、友だちが便器に座っている姿を見て、「すわる!」「〇〇もできるよ!」と意欲的になっている姿が多くなっています。

### ★今月の目標★

- ・手洗い・うがいを丁寧にを行う。
- ・簡単なルールのある集団遊びを楽しむ。
- ・秋の自然物に親しむ。

### ★お楽しみ★

- ・集団遊びを楽しもう。
- ・みんなと手繋ぎ散歩を楽しもう。



過ごしやすい気候になり、散歩に出掛けることが増えてきました。秋ならではの黄色や茶色に色付いた葉っぱを探したり、亀戸中央公園のどんぐり林に出掛け「おおきのみつけたよ」「ふたごのどんぐりあった」と様々な色や大きさのどんぐりを沢山見つけ、秋の自然に触れています。また製作では折り紙を使いどんぐりを作ったり『どんぐりころころ』や『まっぼっくり』の歌や伝統遊戯にも親しみ、友だちや保育者等と一緒に楽しんでいます。

靴の着脱を左右があっているか確認しながら履いたり、テープの部分がきちんと留まっているかなどを気にしたりしながら行っています。今後も一緒に確認をしたり見守ったりしていき、子どもたちの意識を高めていきたいと思っています。

### ★今月の目標★

- ・表現遊びを楽しむ。
- ・ルールある遊びを友だちと楽しむ。
- ・マナーを意識し、食事をする。



気温も心地よくなり、様々な場所へ散歩に出掛けています。亀戸中央公園のどんぐり林では大きささまざまな大きさのどんぐりを見つけて大きさ比べをしたり、落ちていた種類の違う帽子を集めて違いを楽しんでいました。また持ち帰ったどんぐりを使ってどんぐりキャンディを作っています。カラーセロファンで包み、出さないようにねじってを繰り返し沢山のキャンディを作りハロウィン当日を楽しみにしていました。

また、異年齢児との関わりも増え、散歩の際に年下児と散歩に行く道の外側を歩き守ってあげようとする姿や、室内では一緒にトイレまで手を引いて導いてあげたり、ルールの分からない遊びを一生懸命教えてあげたりとお兄さんお姉さんな姿が増えています。

### ★今月の目標★

- ・秋の自然に興味を持つ。
- ・表現遊びを楽しむ。
- ・正しい姿勢を意識し、座ろうとする。



亀戸中央公園内を歩き、自然探索をしました。葉が色付く前後の木々を観察したり、どんぐり林へ行き様々な形のどんぐりを拾ったり、金木犀の香りを嗅いだりと秋の自然に触れています。

折り紙や塗り絵を使って“亀戸こころ動物園”を作りました。動物の並び順や背景等いくつかの役割の中から自分たちで役割分担をしています。意見交換をしながら解決しようと奮起していました。掲示した作品を見て「うさぎにニンジンあげているんだよ」「このみちをとるんだよ」と嬉しそうに解説しています。

### ★今月の目標★

- ・秋の自然に親しむ。
- ・状況に応じた言葉を使い話をする。
- ・友だちと一緒に目標に向かって取り組むことを楽しむ。

### ★幼児クラスのお楽しみ

- ・劇遊びを楽しもう
- ・秋の自然を見つけに行こう!



## ほけんだより

少しずつ朝夕の冷え込みが増えています。1日のうちの寒暖差が大きいと、風邪をひきやすくなります。衣服の調整をしながら寒さに負けない丈夫な身体づくりをしていきましょう。

### 肌の乾燥を防ぎましょう



#### 【部屋の加湿・肌の保湿はけがの予防にもなります】

湿度が50%以下になると肌の乾燥が始まります。みずみずしく見える子どもの肌ですが、皮膚が薄いため乾燥しやすく、とてもデリケートなお肌です。乾燥すると肌のバリア機能が低下し、かゆみやひび割れを起こすことも。加湿器や洗濯物の室内干しなどで部屋の湿度を調整しながら、こまめに保湿ケアを行いましょう。

#### <乾燥肌を予防するには>

- ・日頃から保湿クリームなどを使用しましょう。朝晩1日2回の使用がおすすめ。
- ・肌の乾燥が強い時はクリームの上からワセリンを使用すると乾燥しにくくなります。
- ・入浴後の保湿は、お湯から出て15分以内が効果的です。



### 冬の服装について

寒くなるとつい多めに着込みがち。ですが子どもは体温が高くたくさん動くので、着込みすぎると気づけば汗だくに、なんてことも。冬は大人より1枚少ない服装を心がけましょう。

#### ★冬の服装選びのポイント★

##### ○肌着+薄手の服を重ねましょう。

薄手の服を1枚着るより、素材の異なる薄手の服を2枚重ねる方が、空気の層ができて温かくなります。また室温に合わせて脱ぎ着がしやすくなります。薄手のシャツやカーディガンを用意しておくのがgood。

##### ○上着は冷たい空気が入りにくいものを。保育園ではフードがないタイプがより良い。

屋外で着るジャンパーなどは、そで口や首元がピッタリと閉じている物を選びましょう。

上着のフードはお友達に当たったり、フードが何かに引っかかって活動の妨げになることもあるので、できればないほうが望ましいです。



## 食育だより

### ～11月献立について～

冬の足音が聞こえ始める11月。秋から冬にかけて、食材は甘味が増し美味しくなるだけでなく、栄養価も高くなります。寒くなる冬に向けて献立にも、栄養をたくさん含んだ葉野菜や根菜類を多く取り入れています。また、15日は七五三のお祝い給食です。子どもたちの健やかな成長を願い、当日はお赤飯や紅白ゼリーを提供します。子どもたちも喜ぶような華やかな盛りつけにし、元気に成長した姿をお祝いしていきます。

### ～季節のおすすめレシピ～

【こなゆきおさつ】

<材料 幼児4人分>

- ・さつまいも 中1本
- ・砂糖 大さじ3
- ・水 大さじ1

<作り方>

- ①さつまいもは乱切りにし水に5分程さらす
- ②水気を切り、耐熱容器に入れふんわりラップをしてレンジで5分加熱し水気を拭く
- ③フライパンに少し多めの油を引き、さつまいもを加えて揚げ焼きにする
- ④油を拭いたフライパンに砂糖、水を加え火にかける。時々ゆすって色が変わる直前に火を止めてさつまいもを加える
- ⑤ボウルに移し、砂糖が結晶化するまで混ぜる（最初は透明ですが、だんだんと白くなります。）
- ⑥白く結晶化したら器に盛る

### ～子どもの成長を祝う七五三～

11月15日の七五三は、七歳・五歳・三歳の子どもの成長を祝う日本の年中行事です。子どもの持つ千歳飴の千歳は千年という意味で、子どもの健康と成長を願い「長く伸びる」という意味と、延命長寿を願う意味もこめられているそうです。

### ～絵本を通じて 食育を～

絵本に出てくる食べ物のイメージは、わくわくとした気持ちとともに食への関心を高めます。

絵本を通じて食べる楽しさや作るおもしろさ、好き嫌いの克服や食事のマナーなど、たくさんの発見や喜びを親子で一緒に共有してください。